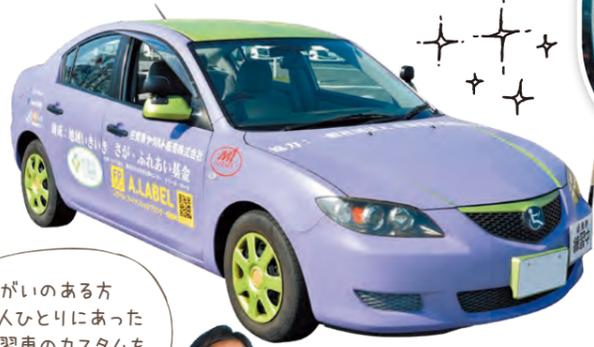


免許取得を支援して、
夢へと続く道をつくる。



片手だけで操作できる
ハンドルとレバー

障がいのある方一人ひとりにあった
教習車のカスタムを
行います。



オートガレージ江下
えしたしんや
代表 江下 真也さん
(ドリームロード 理事)



NPO法人障害者自立生活支援センター
ドリームロード
ふなつ まさひろ
理事長 船津 正弘さん

身体的な障がいのある方は車の運転免許を取得する際、高いハードルがあることをご存知ですか？教習所に通うため、自身が運転できるよう障がいに応じてカスタムした教習車を持ち込む必要があり、教習を受けるだけでも金銭的に大きな負担となります。そこでNPO法人ドリームロードではこの春から、一人ひとりの障がいにあわせた教習車をつくり、手軽にレンタルできる活動を始めました。「私も小さい頃から車椅子生活ですが、免許を取ったことで行動範囲も交友関係も広がりました。この取

り組みが佐賀から全国に広がってほしいです」と理事長の船津さん。また、ドリームロード理事で、福祉車両等の改造・販売店も経営する江下さんは「免許を取得された方から感謝の言葉を聞いたときは本当にやりがいを感じました。障がいのある方が生活する上で、車という移動手段を手に入れることは自信にもなるし大きな意味があると思います」と笑顔。障がいのある方の夢や未来に続く道が、新たにつくられています。

オートガレージ江下
☎0652(26)0650

特集

誰もが暮らしやすい
地域を目指して
ともに生きる。
ともに楽しむ。

「障がいのあるなしにかかわらず、ともに暮らしやすい佐賀づくり」を目指している佐賀県。今月は映画鑑賞と車の運転免許取得という分野でバリアフリー化を進めているみなさんを紹介しします。

他にもいい映画がたくさんあります。



みないろ会とは「みんなでいろんな映画を見たいからバリアフリー映画をつくる会」の略。去年、映画好きの有志約40名が集まって設立し、聴覚障がい者のためのバリアフリー字幕や、視覚障がい者のための音声ガイドをつけた映画の上映会を佐賀市の映画館「シアター・シエマ」などで開いています。メンバーの八坂さんは「邦画は字幕が出ないため聴覚障がいのある方に敬遠されることは、私にとって大きな気づきでした」と話します。今年8月には、みないろ会で初めて音声ガイドを制作した映画『ひいぐんのあるく町』を上映。お客さんも80名以上集まり大好評でした。「大手配給会社の映画は字幕・音声ガイドアプリの活用でバリアフリー化が進んでいます、他にもいい映画がたくさんあります。」

バリアフリー映画を
みんなが楽しむ。

「みないろ会」の8月の
上映会は「さがすたいる」と
コラボして開催しました。

「さがすたいる」とは

県では、お年寄りや障がいのある方、子育て・妊娠中の方など、誰もが暮らしやすい、人にやさしいまちを目指し、県民が互いに理解を深め、支えあう、「さがらしい」やさしさのカタチ「さがすたいる」を広げていくため、当事者との相互理解を深めるイベント等を行っています。



様々な人に利用しやすい
お店を検索できるウェブサイト

レッツさがすたいるトーク

誰もが暮らしやすいまちにしたいために、私たちにできることは何なのか、当事者の方々と一緒に考える交流会。

関心を持つことから始めよう！

令和2年1月・2月にも開催予定！

ミーティングでは
次回作の打ち合わせを
入念に行います



みないろ会でもっとバリアフリー化して障がい者のみなさんと一緒に楽しみたいですね。」と大歯さんは笑顔で語ります。「バリアフリー映画はみんなで見られることも大切です。ぜひ、サポーターになって一緒に活動しましょう」と呼びかける会長の森さん。みんなが楽しめる映画を通して心のバリアフリー化を広めています。

みないろ会(シアター・シエマ)
☎0652(26)5116



みないろ会

会長
おおば ゆうじ 森 きみ子さん やさかあけみ 八坂 明美さん
大歯 雄司さん